

1 日時

平成25年1月22日(火)

2 学級

第6学年菊組(40名)

3 学級観

- ・身近な生活場面での挨拶や気持ちを伝える活動を通して、進んでALTや友達に外国語を使って話しかけたり、相手の伝えたいことを自分と比べながら聞いたりすることができるようになっている。
- ・世界には、自分と違ったり、似ていたりする見方・考え方があることに気付いている。

4 単元名

Hi, friends! 2 Lesson 7 We are good friends. オリジナルの劇をつくろう

5 単元観

本単元では、今までに慣れ親しんだ表現や We are strong and brave. We are good friends. などの新しい表現を組み合わせながら、グループで協力して、オリジナル劇をつくり上げ、自分達の伝えたい思いや願いのこもった劇が、聞き手に伝わる楽しさを味わうことができると思われる。

6 単元目標

- ・進んで自分の伝えたい物語の内容を英語やジェスチャー、表情を使って伝えようとする。
- ・まとまった英語の話を聞いたり、場面にあった台詞を考え伝えたりしようとする。
- ・世界の物語にも伝えたいメッセージがあり、人々の願いは同じであることに気付く。

7 単元評価規準

- ・目的や相手に応じて、まとまった話を聞いたり、自分の思いを伝えたりしようとする。
- ・今までに慣れ親しんだ語彙や、要求を表したり尋ねたりする表現、誰かに何かするよう命令したり促したりする表現を聞いたり、言ったりしている。
- ・まとまった話を聞いている。
- ・世界には様々な物語があることや、人々の思いや願いは同じであることに気付いている。

8 使用する語彙や表現

dog, monkey, bird, peach, boy, Grandpa, Grandma

We are strong and brave. We are good friends.

今まで慣れ親しんだ表現 (I can ~. Can you ~? I like ~. Do you like ~?)

9 単元計画（6時間）

時	目標と主な活動	評価			
		コ	慣	気	
1	<p>世界には様々な物語があり、それぞれに思いや願いがあることに気付くとともに、オリジナルの劇をつくりたいという単元のめあてをつかむ。</p> <p>○誌面の絵を見て、英語で言えるものを発表する。</p> <p>【P】「だれがかくれているか、さがそう。」</p> <p>【L】「お話を聞こう。」（2回） 何度も聞こえる単語を発表する。</p> <p>○物語に込められたメッセージを出し合う。</p> <p>オリジナルの桃太郎劇を2年生に伝えよう。</p>			○	<p>・世界には様々な物語があり、それぞれに思いや願いがあることに気付いている。</p> <p><行動観察・振り返りカード分析></p>
2	<p>まとまった話を聞いてそのあらすじがわかり、今までに慣れ親しんだ語彙や、要求を表したり尋ねたりする表現、誰かに何かするよう命令したり促したりする表現に慣れ親しむ。</p> <p>【L】「お話を聞こう。」（桃太郎の台詞）</p> <p>○「ポインティングゲーム」指導者が言う桃太郎の台詞を聞いて、誌面からその台詞を言っている桃太郎の絵を探す。</p> <p>【L】「お話を聞こう。」（共通の台詞）</p> <p>【C】“We are good friends.”</p>			○	<p>・まとまった話を聞いている。<行動観察・振り返りカード点検></p> <p>・今までに慣れ親しんだ語彙や、要求を表したり尋ねたりする表現、誰かに何かするよう命令したり促したりする表現を聞いたり、言ったりしている。<行動観察・振り返りカード点検></p>
3	<p>今までに慣れ親しんだ語彙や、要求を表したり尋ねたりする表現、誰かに何かするよう命令したり促したりする表現を聞いたり、言ったりしている。</p> <p>【Activity】「オリジナルの物語をつくって演じよう。」</p> <p>グループに分かれ付け加えたい台詞を話し合ったり、今までに慣れ親しんだ言葉を使って台詞をつくらしたりする。</p> <p>グループで劇の練習をする。</p>			○	<p>・今までに慣れ親しんだ語彙や、要求を表したり尋ねたりする表現、誰かに何かするよう命令したり促したりする表現を聞いたり、言ったりしている。<行動観察・振り返りカード点検></p>
4	<p>今までに慣れ親しんだ語彙や、要求を表したり尋ねたりする表現、誰かに何かするよう命令したり促したりする表現を聞いたり、言ったりしている。</p> <p>【Let's Chant】“We are good friends.”</p> <p>【Activity】「オリジナルの物語をつくって演じよう。」</p> <p>グループで練習する。見せ合い、アドバイスをし合う。アドバイスを基に付加修正し、ビデオに撮る。</p>			○	<p>・今までに慣れ親しんだ語彙や、要求を表したり尋ねたりする表現、誰かに何かするよう命令したり促したりする表現を聞いたり、言ったりしている。<行動観察・振り返りカード点検></p>
5	<p>自分たちの伝えたいテーマに沿って英語を使って相手に伝わるように工夫して物語を発表したり、友達の伝えたいことを積極的にわかろうとしたりする。</p> <p>【Activity】「オリジナルの物語をつくって演じよう。」</p> <p>グループに分かれて、自分達の撮ったビデオを視聴し、自分達のグループの修正点を出し合う。修正点を基に、発表に向けて劇の練習をする。</p>			○	<p>・相手意識をもってまとまった話を聞いたり自分の思いを伝えたりしている。</p> <p><行動観察・振り返りカード点検></p>
6	<p>自分たちの伝えたいテーマに沿って英語を使って相手に伝わるように工夫して物語を発表したり、友だちの伝えたいことを積極的にわかろうとしたりする。</p> <p>【Activity】「オリジナルの物語をつくって演じよう。」</p> <p>劇の発表をする。感想を出し合い、単元をまとめる。</p>			○	<p>・相手意識をもってまとまった話を聞いたり自分の思いを伝えたりしている。</p> <p><行動観察・振り返りカード点検></p>

第1時

目標 世界には様々な物語があり、それぞれに思いや願いがあることに気付くとともに、オリジナルの劇をつくりたいという単元のめあてをつかむ。

児童の活動	指導者の活動	準備物
<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 	
<p>【Let's Play】 p. 26, 27</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誌面の絵にあるもので、英語で言えるものを発表する。 ・登場人物や動物がいるか探して発表し、教師用絵カードで、どんな物語が誌面に隠れているか確認する。 ・音声教材を聞いて、それがどの物語のことか考える。 ・誌面に載っている以外で、知っている物語を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・誌面 p. 26, 27 の絵を見て、英語で言えるものを発表させる。 ・どんな人物や動物がいるか探しながら、それらがどんな物語の登場人物か考えて発表させ、児童の発表にあわせて、教師用絵カードを貼る。 ・音声教材で様々な物語を聞かせ、それがどの物語のことか尋ねる。 ・日本の物語と比べ、文化の相異点に気付かせる。 <p style="text-align: right;">※評価</p>	<p>教師用絵カード (様々な物語)</p> <p>デジタル教材</p>
<p>【Let's Listen】 p. 26 ～ 36</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物語を聞く。＜1回目＞ デジタル教材を見たり、聞いたりしながら、物語の内容をとらえる。 ・物語を聞く。＜2回目＞ ALT による読みか聞かせを通して、<u>何度も聞こえる語に慣れ親しむ。</u> ・聞こえた語を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・物語を聞かせる。＜1回目＞ デジタル教材を見せ、場面絵と音声から物語の内容をつかめるようにする。 ・物語を聞かせる。＜2回目＞ 聞かせる前に、<u>どんな語が何度も聞こえるか意識して聞くよう指示する。</u>→strong, brave, friend ・慣れ親しんだ単語がたくさんあることを視覚的にとらえさせ、聞きとったり、話したりできるようになったことに気付かせる。 	<p>教師用絵カード (桃太郎場面絵)</p> <p>デジタル教材</p>
<p>○話の内容について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物語にこめられたメッセージを出し合う。 協力する大切さ、互いが幸せになるよさ ・慣れ親しんだ言葉や、新しく知った言葉を出し合い、オリジナルの劇を2年生に伝えるめあてをつかむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの語やくり返される語から、物語にこめられたメッセージをつかませる。 ・慣れ親しんだ言葉や新しい言葉を使えば、自分達にもできそうなことに気付かせる。 <p style="text-align: right;">※評価</p>	<p>教師用絵カード (桃太郎場面絵)</p> <p>デジタル教材</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動をふり返る。 ・振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の英語を使おうとする態度などでよかったところをほめる。 ・挨拶をする。 	<p>振り返りカード</p>

評価規準

- ・世界には様々な物語があることに気付いている。【気】＜行動観察・振り返りカード分析＞

第2時

目標 まとまった話を聞いてそのあらすじがわかり、今までに慣れ親しんだ語彙や、要求を表したり尋ねたりする表現、誰かに何かするよう命令したり促したりする表現に慣れ親しむ。

児童の活動	指導者の活動	準備物
・挨拶をする。	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
<p>【Let's Listen】 p. 26 ~ 36</p> <p>・物語を聞く。＜3回目＞（桃太郎台詞）</p> <p>教師用絵カードを見ながら、<u>桃太郎の台詞を意識して</u>、音声教材で物語を聞く。</p> <p>・聞こえた桃太郎の台詞を発表する。</p>	<p>・物語を聞かせる。＜3回目＞</p> <p>聞かせる前に、<u>桃太郎がどんな台詞を言うか意識して</u>聞くよう指示する。</p> <p>・桃太郎の台詞を発表させ、それはこれまでのどの単元で聞いたり、使ったりした表現だったか想起させる。</p> <p>※評価①②</p>	<p>教師用絵カード （桃太郎場面絵）</p> <p>デジタル教材</p> <p>Hi, friends! 1</p>
<p>○ポインティングゲームをする。 （桃太郎台詞）</p> <p>・指導者が言う<u>桃太郎の台詞</u>を聞いて、誌面 p. 28 ~ 36 から、その台詞を言っている桃太郎の絵を探してさし示す。</p>	<p>・指導者は、<u>桃太郎が言う台詞</u>を言い、児童に誌面からその台詞を言っている桃太郎を探して、さし示させる。</p>	<p>教師用絵カード （桃太郎場面絵）</p> <p>デジタル教材</p>
<p>【Let's Listen】 p. 26 ~ 36</p> <p>・物語を聞く。＜4回目＞（共通台詞）</p> <p>絵カードを見ながら、<u>桃太郎やさるなどの共通の台詞を意識して</u>、音声教材で物語を聞く。</p> <p>・聞こえた共通の台詞を発表する。</p>	<p>・物語を聞かせる。＜4回目＞</p> <p>聞かせる前に、桃太郎やさる、犬、キジが言う<u>共通の台詞が何かを意識して</u>聞くよう指示する。</p> <p>・視覚的にとらえさせるため、台詞の場面を、絵カードを見せて確認する。</p> <p>→strong, brave, friends ※評価①②</p>	<p>教師用絵カード （桃太郎場面絵）</p> <p>デジタル教材</p>
<p>【Let's Chant】 “We are good friends.”</p> <p>p. 37</p> <p>・音声教材を聞き、リズムに合わせて言う。</p>	<p>・音声教材を聞かせ、一緒に言う。</p>	<p>デジタル教材</p>
<p>・本時の活動をふり返る。</p> <p>振り返りカードに記入する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・児童の英語を使おうとする態度などでよかったところをほめる。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>振り返りカード</p>

評価規準

①まとまった話を聞いている。＜行動観察・振り返りカード点検＞

②今までに慣れ親しんだ語彙や、要求を表したり尋ねたりする表現、誰かに何かするよう命令したり促したりする表現を聞いたり、言ったりしている。【慣】＜行動観察・振り返りカード点検＞

第3時

目標 今までに慣れ親しんだ語彙や、要求を表したり尋ねたりする表現、誰かに何かするよう命令したり促したりする表現を聞いたり、言ったりしている。

児童の活動	指導者の活動	準備物
・挨拶をする。	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
<p>【Activity】オリジナルの物語をつくる。 p. 37</p> <p>○グループに分かれて付け加えたい台詞を話し合う。</p> <p>・今までの活動をふり返り、場面に応じた台詞を出し合う。</p> <p>Here you are. Thank you. Happy. Sorry I can help you. Can you help me? Do you like ~? I like ~.</p>	・今まで使った絵カードや学習ノート、Hi, friends!などをふり返らせ、使えそうな表現や、伝えたい表現を想起させる。	教師用絵カード (桃太郎場面絵) デジタル教材
○今まで慣れ親しんだ言葉を使って台詞をつくる。 ・これまでの外国語活動の授業で慣れ親しんだ語や表現を取り入れながら、台詞を決め、付箋に書き出す。	・今まで使った絵カードやキーセンテンスを提示し、登場人物ごとに色分けさせ、慣れ親しんだ語や表現を付箋に書き出させる。 ※評価	デジタル教材
○グループで劇の練習をする。 ・グループで登場人物を工夫して、オリジナルの物語をつくる。 ・オリジナル登場人物を、誌面 p. 37 に書く。	<p>・グループでオリジナル桃太郎物語をつくり、発表することを告げる。つくるに当たって以下のことを約束にする。 ※評価</p> <p>①この物語の strong, brave, friends という言葉を大切にし、登場人物を工夫する。</p> <p>②これまでの外国語活動の授業で慣れ親しんだ語や表現を多く取り入れ、聞いている人にわかる台詞にする。</p> <p>③聞いている人にわかるような、台詞の言い方やジェスチャーを工夫する。</p> <p>④グループで配役をし、全員が台詞を言う場面をつくる。 (デジタル教材を活用すれば、これまで外国語活動の授業で扱った表現の音声を確認したり、辞書機能で調べたりすることができる。)</p>	Hi, friends! 1 デジタル教材
・本時の活動をふり返る。 振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・児童の英語を使おうとする態度などでよかったところをほめる。 ・挨拶をする。	振り返りカード

評価規準

・慣れ親しんだ語彙や、要求を表したり尋ねたりする表現、誰かに何かするよう命令したり促したりする表現を聞いたり、言ったりしている。【慣】 <行動観察・振り返りカード点検>

第4時

目標 今までに慣れ親しんだ語彙や、要求を表したり尋ねたりする表現、誰かに何かするよう命令したり促したりする表現を聞いたり、言ったりしている。

児童の活動	指導者の活動	準備物
・挨拶をする。	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
【Let's Chant】 “We are good friends.” p. 37 ・音声教材を聞き、リズムに合わせて言う。	・音声教材を聞かせ、一緒に言う。	デジタル教材
【Activity】 オリジナルの物語をつくり、練習する。 p. 37 ○グループで練習する。	・児童が、自由に音声教材を開けるようにしておく。 (デジタル教材を活用すれば、これまで外国語活動の授業で扱った表現の音声を確認したり、辞書機能で調べたりすることができる。) ・各グループを回り、進捗状況を把握するとともに、台詞やジェスチャーなどのアドバイスをする。 ※評価	デジタル教材
○互いに見せ、アドバイスをし合う。	・活動を途中で止め、各グループの進捗状況をみんなに報告させる。そうすることで、ほかのグループのよいところを参考にさせる。その後、活動を再開させる。	
○アドバイスを基に付加修正し、ビデオに撮る。	・自己評価したり、自ら進んでオリジナルの劇を改善したりできるように、自分たちでビデオに撮らせる。 ※評価	ビデオ
・本時の活動をふり返る。 振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・各グループでの様子をとらえて、よかったところなどをほめる。 ・挨拶をする。	振り返りカード

評価規準

・慣れ親しんだ語彙や、要求を表したり尋ねたりする表現、誰かに何かするよう命令したり促したりする表現を聞いたり、言ったりしている。【慣】 <行動観察・振り返りカード点検>

第5時

目標 自分たちの伝えたいテーマに沿って英語を使って相手に伝わるように工夫して物語を発表したり、友達の伝えたいことを積極的にわかろうとしたりする。

児童の活動	指導者の活動	準備物
・挨拶をする。	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
<p>【Activity】オリジナルの物語をつくり、練習する。 p.37</p> <p>○グループに分かれて、自分達の撮影したビデオを視聴する。</p> <p>・よさを見つける人、課題を見つける人と分かれて視聴する。</p>	<p>・前時、自分たちで撮影したビデオをふり返らせ、よさや課題を見つけさせる。</p> <p>うまく伝わっている部分</p> <p>もう少し工夫した方がいい部分</p>	ビデオ パソコン
○自分達のグループの修正点を出し合う。	<p>・自分たちで撮影したビデオをふり返らせ、よさや課題を出し合わせる。</p> <p>①相手に伝わりやすい声の大きさか。</p> <p>②2年生にもわかるようにジェスチャー、表情などを組み合わせているか。</p> <p>③全員が活やくできるものになっているか。</p>	
○修正点を基に、発表に向けて劇の練習をする。	<p>・各グループの発表内容、台詞の言い方などでよかったところ、工夫されていたところなどを全体で確認し、修正の方向性を明らかにして、再度練習を行わせる。</p> <p style="text-align: right;">※評価</p>	振り返りカード
<p>・本時の活動をふり返る。</p> <p>振り返りカードに記入する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	・挨拶をする。	振り返りカード

評価規準

・相手意識をもってまとまった話を聞いたり自分の思いを伝えたりしている。

【コ】 <行動観察・振り返りカード点検>

第6時

目標 自分たちの伝えたいテーマに沿って英語を使って相手に伝わるように工夫して物語を発表したり、友だちの伝えたいことを積極的にわかろうとしたりする。

児童の活動	指導者の活動	準備物
<ul style="list-style-type: none"> ・2年生やクラスみんなと挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に挨拶をする。 	
<p>【Activity】オリジナルの物語を演じる。 p. 37</p> <p>○劇の発表をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各グループがオリジナル劇を発表する。 ・発表を鑑賞するグループは、発表の後、よかったところや工夫されていたところなど、感想を発表する。英語のほめ言葉を言う。Good! Very nice! Excellent! 	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループに順に発表させる。 ・各グループの劇が終わったときには、拍手しながら Good! や Excellent! などのほめ言葉を言い、鑑賞したほかの児童、2年生にも言うように促す。 ※評価 	
<p>○感想を出し合い、単元をまとめる。</p> <p>Good gesture. Clear voice.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発表の後は、2年生からの感想を聞かせる。感想は日本語で発表するが、英語のほめ言葉を加えさせ、英語で通じ合う楽しさを実感させる。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動をふり返る。 振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループの発表内容、台詞の言い方などでよかったところ、工夫されていたところなどについてコメントを言ったり、自己評価させたりする。 ・挨拶をする。 	振り返りカード

評価規準

・相手意識をもってまとまった話を聞いたり自分の思いを伝えたりしている。

【コ】 <行動観察・振り返りカード点検>